



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2020年11月12日

上場会社名 株式会社 森組

上場取引所 東

コード番号 1853 URL <https://www.morigumi.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 吉田 裕司

問合せ先責任者 (役職名) 理財部長 (氏名) 黒飛 勝之

TEL 06-6201-5898

四半期報告書提出予定日 2020年11月13日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	12,591	12.9	320	18.8	325	17.2	207	14.3
2020年3月期第2四半期	11,150	32.0	269	81.1	277	80.4	181	81.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	6.34	
2020年3月期第2四半期	5.55	

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	21,729	11,985	55.2	365.98
2020年3月期	23,711	12,226	51.6	373.33

(参考)自己資本 2021年3月期第2四半期 11,985百万円 2020年3月期 12,226百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期				14.00	14.00
2021年3月期					
2021年3月期(予想)				14.00	14.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	30,000	12.4	1,360	0.6	1,360	1.2	910	2.3	27.79

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	32,800,000 株	2020年3月期	32,800,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	50,302 株	2020年3月期	50,302 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	32,749,698 株	2020年3月期2Q	32,749,698 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の実績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
第2四半期累計期間	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(追加情報)	8
(セグメント情報)	8
3. 補足情報	10
四半期受注の概況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により緊急事態宣言が発出された状況からやや落ち着きを取り戻し、経済活動レベルの段階的な引き上げが行われるなど、回復に向かいつつあります。しかし、当初期待された短期間での収束には未だ至っておらず、事態は長期化の様相を呈しており、海外では感染の再拡大が懸念されるなど、今後の先行きに対する不透明感はさらに増しております。

建設業界におきましては、公共建設投資は底堅く推移しているものの、新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う工事の一時中止や工期の延長など、限定的ながらも影響が出ており、予断を許さない状況が続いております。また、今後新型コロナウイルス感染症の影響が長期化することは避けられない見通しとなっており、企業収益の減少や先行きに対する不透明感の高まりによって経済状況は混迷の度を深め、経営環境はさらに厳しさを増しております。

このような状況の下、当第2四半期累計期間における工事受注高は8,345百万円（前年同四半期比20.0%減）となり、売上高12,591百万円（前年同四半期比12.9%増）、営業利益320百万円（前年同四半期比18.8%増）、経常利益325百万円（前年同四半期比17.2%増）、四半期純利益207百万円（前年同四半期比14.3%増）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

(建設事業)

建設事業におきましては、受注高8,345百万円（前年同四半期比20.0%減）、売上高12,224百万円（前年同四半期比14.2%増）、セグメント利益772百万円（前年同四半期比9.4%増）となりました。

(不動産事業)

不動産事業におきましては、売上高17百万円（前年同四半期比1.8%減）、セグメント利益5百万円（前年同四半期比6.2%増）となりました。

(碎石事業)

碎石事業におきましては、売上高349百万円（前年同四半期比18.1%減）、セグメント損失17百万円（前年同四半期はセグメント利益29百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期会計期間末の総資産は、前事業年度末比1,981百万円減少の21,729百万円となりました。この主な要因は、現金預金205百万円の増加と、受取手形・完成工事未収入金1,595百万円の減少等によるものであります。

(負債)

当第2四半期会計期間末の負債合計は、前事業年度末比1,741百万円減少の9,743百万円となりました。この主な要因は、未成工事受入金634百万円の増加と、支払手形・工事未払金等2,284百万円の減少等によるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末の純資産合計は、前事業年度末比240百万円減少の11,985百万円となりました。この主な要因は、四半期純利益207百万円の計上による増加と、配当金の支払いによる458百万円の減少等によるものであります。この結果、自己資本比率は55.2%（前事業年度末は51.6%）となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前事業年度末比205百万円増加の8,710百万円となりました。

当第2四半期累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動による資金の増加は696百万円（前年同四半期は資金の増加914百万円）となりました。これは主に仕入債務の減少、法人税等の支払いによる資金の減少に対し、税引前四半期純利益の計上、売上債権の減少及び未成工事受入金の増加による資金の増加が上回ったことによるものであります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動による資金の減少は26百万円（前年同四半期は資金の減少111百万円）となりました。これは主に有形固定資産の売却による収入に対し、有形固定資産の取得による支出、無形固定資産の取得による支出が上回ったことによるものであります。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動による資金の減少は465百万円（前年同四半期は資金の減少529百万円）となりました。これは主に配当金の支払額によるものであります。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間における業績は、概ね計画通りに推移しており、前回発表（2020年8月7日）の業績予想に変更はありません。

なお、新型コロナウイルス感染症の拡大・収束の状況や時期など、今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。当社の業績に影響を及ぼす事象等が生じた場合には、速やかに公表いたします。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金預金	8,504	8,710
受取手形・完成工事未収入金	10,598	9,003
売掛金	175	173
未成工事支出金	9	5
たな卸不動産	0	0
商品及び製品	6	8
材料貯蔵品	48	50
その他	1,641	1,016
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	20,978	18,962
固定資産		
有形固定資産		
建物・構築物	1,113	1,113
機械、運搬具及び工具器具備品	1,907	1,942
土地	862	862
リース資産	43	60
減価償却累計額	△2,225	△2,278
有形固定資産合計	1,701	1,701
無形固定資産	60	57
投資その他の資産		
投資有価証券	257	267
長期貸付金	17	15
前払年金費用	528	563
その他	177	171
貸倒引当金	△10	△9
投資その他の資産合計	970	1,008
固定資産合計	2,732	2,767
資産合計	23,711	21,729

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形・工事未払金等	9,040	6,755
短期借入金	900	900
未払法人税等	21	143
未成工事受入金	786	1,420
完成工事補償引当金	70	60
工事損失引当金	2	2
賞与引当金	115	139
その他	435	200
流動負債合計	11,372	9,622
固定負債		
繰延税金負債	94	94
その他	17	26
固定負債合計	112	121
負債合計	11,484	9,743
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,640	1,640
資本剰余金	202	202
利益剰余金	10,444	10,193
自己株式	△4	△4
株主資本合計	12,281	12,030
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△55	△45
評価・換算差額等合計	△55	△45
純資産合計	12,226	11,985
負債純資産合計	23,711	21,729

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高		
完成工事高	10,705	12,224
碎石事業売上高	426	349
不動産事業売上高	17	17
売上高合計	11,150	12,591
売上原価		
完成工事原価	9,709	11,199
碎石事業売上原価	375	347
不動産事業売上原価	12	11
売上原価合計	10,096	11,559
売上総利益		
完成工事総利益	996	1,024
碎石事業総利益	51	2
不動産事業総利益	5	6
売上総利益合計	1,053	1,032
販売費及び一般管理費	784	712
営業利益	269	320
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	2
受取事務手数料	2	2
固定資産売却益	5	10
還付加算金	—	6
雑収入	2	1
営業外収益合計	17	24
営業外費用		
支払利息	7	9
災害による損失	—	8
支払手数料	0	—
雑支出	0	0
営業外費用合計	8	18
経常利益	277	325
税引前四半期純利益	277	325
法人税、住民税及び事業税	12	118
法人税等調整額	84	△0
法人税等合計	96	118
四半期純利益	181	207

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	277	325
減価償却費	69	62
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△0	△1
工事損失引当金の増減額 (△は減少)	8	△0
前払年金費用の増減額 (△は増加)	△134	△34
受取利息及び受取配当金	△6	△2
支払利息	7	9
売上債権の増減額 (△は増加)	4,128	1,596
破産更生債権等の増減額 (△は増加)	0	0
未成工事支出金の増減額 (△は増加)	5	4
未成工事受入金の増減額 (△は減少)	1,087	634
仕入債務の増減額 (△は減少)	△3,241	△2,284
未払又は未収消費税等の増減額	△427	276
その他	△83	43
小計	1,691	629
利息及び配当金の受取額	6	2
利息の支払額	△7	△9
法人税等の支払額	△775	△23
法人税等の還付額	—	97
営業活動によるキャッシュ・フロー	914	696
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△105	△37
有形固定資産の売却による収入	6	11
無形固定資産の取得による支出	△14	△3
長期貸付金の回収による収入	2	2
その他	—	1
投資活動によるキャッシュ・フロー	△111	△26
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△9	△8
配当金の支払額	△520	△456
財務活動によるキャッシュ・フロー	△529	△465
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	273	205
現金及び現金同等物の期首残高	9,735	8,504
現金及び現金同等物の四半期末残高	10,008	8,710

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症拡大に伴う会計上の見積りについて)

会計上の見積りに対する新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響については、当社は現在、重要な繰延税金資産がなく、固定資産についても収益が想定を下回る場合でも当面は減損損失等が発生することは考えにくく、当期においては限定的であると認識しております。また、新型コロナウイルス感染症による影響を現時点で合理的に算出することは困難であります。当社では新型コロナウイルス感染症による影響は一定期間経過後に収束し、当事業年度の業績について受注や工事進捗等に一定程度の影響を受けるものの、重要な影響はないと仮定したうえで、これを元に見積りを行っております。

なお、当該会計上の見積りについての仮定につきましては、前事業年度の有価証券報告書に記載した内容から重要な変更はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	10,705	17	426	11,150
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	0	0
計	10,705	17	426	11,150
セグメント利益	706	5	29	741

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	741
全社費用(注)	△472
四半期損益計算書の営業利益	269

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期累計期間（自 2020年4月1日 至 2020年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			
	建設事業	不動産事業	砕石事業	計
売上高				
外部顧客への売上高	12,224	17	349	12,591
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	0	0
計	12,224	17	349	12,591
セグメント利益又は損失（△）	772	5	△17	761

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	761
全社費用（注）	△441
四半期損益計算書の営業利益	320

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

3. 補足情報

四半期受注の概況

(1) 受注実績

項目	受注高	
2021年3月期第2四半期累計期間	8,345百万円	△20.0%
2020年3月期第2四半期累計期間	10,433百万円	△15.3%

(注) ①受注高は、当該四半期までの累計額

②海外受注高はありません。

③パーセント表示は、前年同四半期比増減率

(参考) 受注実績内訳

(単位：百万円)

項目			前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)		比較増減	増減率
			金額	構成比	金額	構成比		
建	土木	官公庁	5,345	51.2%	4,053	48.6%	△1,291	△24.2%
		民間	△20	△0.2%	3	0.0%	24	—
		計	5,325	51.0%	4,057	48.6%	△1,267	△23.8%
設	建築	官公庁	567	5.5%	783	9.4%	216	38.1%
		民間	4,540	43.5%	3,503	42.0%	△1,036	△22.8%
		計	5,107	49.0%	4,287	51.4%	△820	△16.1%
業	計	官公庁	5,913	56.7%	4,837	58.0%	△1,075	△18.2%
		民間	4,519	43.3%	3,507	42.0%	△1,012	△22.4%
		計	10,433	100%	8,345	100%	△2,087	△20.0%

(2) 受注予想

項目	受注高	
2021年3月期 通期予想	30,000百万円	△2.2%
2020年3月期 通期実績	30,689百万円	△19.3%

(注) パーセント表示は、前年同期比増減率